

2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年11月14日

上場会社名 株式会社スマートバリュー 上場取引所 東
コード番号 9417 URL <https://www.smartvalue.ad.jp/>
代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 渋谷 順
問合せ先責任者 (役職名) 社長室 (氏名) 大門 朋恵 (TEL) 06-6227-5577
Division Manager
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績(2025年7月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	1,239	53.9	△68	—	△293	—	△242	—
2025年6月期第1四半期	805	3.4	△105	—	△107	—	△102	—

(注) 包括利益 2026年6月期第1四半期 △276百万円(—%) 2025年6月期第1四半期 △103百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	△23.36	—
2025年6月期第1四半期	△9.87	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第1四半期	24,237	2,639	9.1
2025年6月期	24,903	2,998	10.2

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 2,217百万円 2025年6月期 2,543百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2026年6月期	—	—	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日～2026年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	3,270	81.0	71	—	△376	—	△332	△31.99
通期	7,421	70.1	910	—	20	—	△68	△6.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年6月期1Q	10,679,800株	2025年6月期	10,679,800株
2026年6月期1Q	287,490株	2025年6月期	287,490株
2026年6月期1Q	10,392,310株	2025年6月期1Q	10,392,310株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の緩やかな回復基調が続いているものの、米国の関税政策や不安定な国際情勢による先行き不透明感が強まるとともに、エネルギー価格を筆頭とした物価上昇の継続による消費の停滞により、経済の先行きに係る不確実性は依然として高い状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループでは「スマート&テクノロジーで歴史に残る社会システムを創る！」をミッションとし事業を展開してまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、4月に開業したGLION ARENA KOBE（注1）における貸館契約やパートナーシップ契約の獲得など、着実に収益の獲得を推進し、大幅増収となりました。また、モビリティ・サービスセグメントにおいては契約数増によるMRR（月次経常収益）増加や業務効率化が奏功しております。その結果当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は1,239,903千円（前年同期比53.9%増）、営業損失は68,002千円（前年同期は105,706千円の損失）、経常損失は293,377千円（前年同期は107,852千円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は242,808千円（前年同期は102,580千円の損失）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりです。なお、2025年6月30日付でデジタルガバメント事業の一部を譲渡したことに伴い、当第1四半期連結会計期間よりセグメントの区分を変更しております。このため、前第1四半期連結累計期間との比較については、セグメント区分の変更後の数値に組み替えて比較を行っております。詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」の「セグメント情報 当第1四半期連結累計期間 4. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

<モビリティ・サービスセグメント>

モビリティ・サービスセグメントは、100年に一度という自動車産業の大変革期において、コネクティッドカー（注2）サービスである“CiEMSシリーズ”（注3）やクルマのデータ利活用を推進するプラットフォーム、ソフトウェア、さらにカーシェアリングや無人化サービスなどクルマのサービス化を支援するプラットフォーム“Kuruma Base”（注4）の提供へと、多様なモビリティIoTを事業とするモビリティ・サービスを推進いたしました。

当第1四半期連結累計期間においては、3Gサービスの停波による車載器の入れ替えによる物販の特需や、収益性向上に向けた原価低減や業務効率化などを実行した結果、原価率は改善され増収増益となりました。

以上の結果、セグメント売上高は296,926千円（前年同期比9.3%増）、セグメント利益は58,154千円（前年同期比34.3%増）となりました。

<スマートベニューセグメント>

スマートベニューセグメントでは、2025年4月開業のGLION ARENA KOBEを軸として、政府が成長産業として位置付けるスタジアム・アリーナ改革やスマートベニューという概念に則り、新たな市場の創造を目指しております。さらに収益的にも当社グループの成長を支える存在になるよう推進しております。

当第1四半期連結累計期間においては、貸館契約やパートナーシップ契約の新規獲得や自主興行におけるチケット収益の獲得により、増収増益となりました。

以上の結果、セグメント売上高は942,976千円（前年同期比292.3%増）、セグメント損失は34,801千円（前年同期は74,529千円の損失）となりました。

[用語解説]

- 注1. GLION ARENA KOBE : NTT都市開発株式会社、株式会社NTTドコモ及び当社の3社企業コンソーシアムによる民設民営のアリーナプロジェクトである「神戸アリーナプロジェクト」のもと、兵庫県神戸市中央区の新港突堤西地区（第2突堤）に開業した多目的アリーナ。2024年2月に名称を「GLION ARENA KOBE（ジーライオンアリーナ神戸）」と決定した。
- 注2. コネクティッドカー : インターネットに接続され、情報を送ることも受け取ることもできる自動車のこと。
- 注3. CiEMSシリーズ : 当社が提供する、モビリティから取得した多様なデータを分析・活用することで、交通事故の削減、渋滞の緩和、車両活用の効率化など、様々な社会課題の解決をするためのサービス。
- 注4. Kuruma Base : 当社が提供する、クルマのコネクティッド化からサービス化までをインテグレートするプラットフォーム。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、24,237,681千円となり、前連結会計年度末と比べ665,754千円の減少となりました。

流動資産は4,947,214千円となり、前連結会計年度末と比べ463,506千円の減少となりました。その主たる要因は、現金及び預金が74,181千円、その他流動資産が445,285千円減少したことによるものであります。

固定資産は19,289,159千円となり、前連結会計年度末と比べ201,759千円の減少となりました。その主たる要因は、リース資産が209,588千円減少したことによるものであります。

繰延資産は1,307千円となり、前連結会計年度末と比べ488千円の減少となりました。その主たる要因は、株式交付費が459千円減少したことによるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、21,598,395千円となり、前連結会計年度末と比べ306,285千円の減少となりました。

流動負債は2,669,668千円となり、前連結会計年度末と比べ160,288千円の減少となりました。その主たる要因は、契約負債が346,101千円増加したものの、未払法人税等が502,728千円減少したことによるものであります。

固定負債は18,928,726千円となり、前連結会計年度末と比べ145,997千円の減少となりました。その主たる要因は、長期借入金が51,213千円、リース債務が82,994千円減少したことによるものであります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,639,285千円となり、前連結会計年度末と比べ359,469千円の減少となりました。その主たる要因は、利益剰余金が配当金の支払いにより83,138千円及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により242,808千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の連結業績予想については、2025年8月14日付「2025年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました通期の予想数値に変更はございません。

今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,126,767	4,052,586
受取手形、売掛金及び契約資産	497,092	534,180
商品	67,928	87,019
仕掛品	347	129
その他	718,583	273,298
流動資産合計	5,410,720	4,947,214
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,377,768	2,335,741
リース資産（純額）	16,243,476	16,033,888
その他（純額）	75,684	85,808
有形固定資産合計	18,696,929	18,455,438
無形固定資産		
ソフトウェア	112,589	116,637
その他	28,934	53,043
無形固定資産合計	141,524	169,681
投資その他の資産		
繰延税金資産	161,463	178,896
敷金及び保証金	287,691	286,665
その他	203,310	198,476
投資その他の資産合計	652,465	664,038
固定資産合計	19,490,918	19,289,159
繰延資産		
創立費	88	59
株式交付費	1,707	1,248
繰延資産合計	1,796	1,307
資産合計	24,903,435	24,237,681

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	79,876	79,272
1年内返済予定の長期借入金	204,852	204,852
リース債務	358,022	369,927
未払法人税等	512,019	9,290
契約負債	1,091,570	1,437,672
賞与引当金	95,233	33,457
ポイント引当金	675	887
資産除去債務	12,268	12,268
その他	475,438	522,040
流動負債合計	2,829,956	2,669,668
固定負債		
長期借入金	1,792,872	1,741,659
リース債務	16,311,366	16,228,372
繰延税金負債	3,239	1,782
資産除去債務	323,060	324,527
その他	644,185	632,386
固定負債合計	19,074,723	18,928,726
負債合計	21,904,680	21,598,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044,944	1,044,944
資本剰余金	1,114,988	1,114,988
利益剰余金	537,861	211,914
自己株式	△154,411	△154,411
株主資本合計	2,543,382	2,217,435
非支配株主持分	455,373	421,850
純資産合計	2,998,755	2,639,285
負債純資産合計	24,903,435	24,237,681

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	805,408	1,239,903
売上原価	537,074	868,735
売上総利益	268,334	371,167
販売費及び一般管理費	374,041	439,170
営業損失(△)	△105,706	△68,002
営業外収益		
受取利息	104	2,238
違約金収入	2,129	1,283
賃貸料収入	7,110	15,269
その他	220	1,031
営業外収益合計	9,564	19,823
営業外費用		
支払利息	3,382	227,096
創立費償却	29	29
株式交付費償却	685	459
賃貸収入原価	6,383	14,353
その他	1,228	3,259
営業外費用合計	11,709	245,198
経常損失(△)	△107,852	△293,377
特別損失		
固定資産除却損	16	0
特別損失合計	16	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△107,869	△293,377
法人税、住民税及び事業税	2,219	1,844
法人税等調整額	△6,531	△18,890
法人税等合計	△4,312	△17,046
四半期純損失(△)	△103,556	△276,330
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△976	△33,522
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△102,580	△242,808

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期純損失(△)	△103,556	△276,330
四半期包括利益	△103,556	△276,330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△102,580	△242,808
非支配株主に係る四半期包括利益	△976	△33,522

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタル ガバメント	モビリティ・ サービス	スマート ベニユー	合計		
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	1,298	81,152	16,260	98,710	—	98,710
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	292,026	190,588	224,083	706,698	—	706,698
顧客との契約から生じる収益	293,324	271,740	240,343	805,408	—	805,408
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	293,324	271,740	240,343	805,408	—	805,408
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	11,020	11,020	△11,020	—
計	293,324	271,740	251,364	816,429	△11,020	805,408
セグメント利益又は 損失(△)	29,861	43,311	△74,529	△1,356	△104,350	△105,706

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△104,350千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタル ガバメント	モビリティ・ サービス	スマート ベニユー	合計		
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	—	105,091	111,539	216,630	—	216,630
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	191,834	831,437	1,023,272	—	1,023,272
顧客との契約から生じる収益	—	296,926	927,352	1,224,279	—	1,224,279
その他の収益	—	—	15,624	15,624	—	15,624
外部顧客への売上高	—	296,926	942,976	1,239,903	—	1,239,903
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	7,415	7,415	△7,415	—
計	—	296,926	950,392	1,247,318	△7,415	1,239,903
セグメント利益又は損失(△)	—	58,154	△34,801	23,352	△91,355	△68,002

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△91,355千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分変更)

当社グループの報告セグメントの区分は前連結会計年度において「デジタルガバメント」「モビリティ・サービス」「スマートベニユー」の3つを報告セグメントとしておりましたが、2025年6月30日付でデジタルガバメント事業の一部を譲渡したことを受け、「デジタルガバメント」を前連結会計年度をもって廃止いたしました。

これに伴い「デジタルガバメント」に包含しておりました連結子会社である株式会社ノースディテールについては、スマートベニユー領域におけるまちづくりICT基盤の重要な要を担っていることから「スマートベニユー」へ移設し、「モビリティ・サービス」「スマートベニユー」の2つの報告セグメントに当第1四半期連結会計期間より変更いたしました。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は、作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	30,062千円	267,139千円
のれんの償却額	4,060千円	—千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載のとおりであります。